

2024.3.27

第22回 聞き書き甲子園フォーラムが行われました。

●●聞き書き甲子園とは？●●

全国の高校生が日本のさまざまな地域で暮らす「森・川・海の名人（注）」を訪ね、技や人となりや「聞き書き」し、文字に起こして記録する活動です。

林業や漁業などで、使われる専門用語なども、名人から教わる言葉をそのまま文字にする事で、日常生活では、触れる機会の少ない自然と共に生きる知恵や技術などを学ぶ機会にも繋がる取り組みです。

※「名人」とは、林業、水産業、工芸など、地域の自然と関わる仕事に長年従事し、先人からの知恵や技、心を受け継いできた方です。

ファミリーマートは2006年からファミリーマート 夢の掛け橋募金を通じて、聞き書き甲子園の取り組みを応援しております。

●●聞き書き甲子園フォーラムの様子●●

当日は、聞き書きをした高校生やそのご家族、名人、名人のご家族などが参加され、会場全体が温かい雰囲気で行進中、作家の塩野米松氏及びエッセイストの阿川佐和子氏を聞き手に迎え、名人と高校生の聞き書きの体験談やエピソードに関する対談をおこないました。高校生からは、「昔と今の違いを知るきっかけや自然や伝統の大切さ、また、自分の将来の夢を考えるきっかけに繋がった」、名人からは、「自分が長年大切にしてきた事や頑張った事などを文字に起こしてもらい、振り返るきっかけに繋がった」等の声があがりました。

●●ファミリーマート賞受賞者●●

優秀作品に対する表彰式では、ファミリーマート賞に選ばれた高校2年生の佐野村 美詩(さのむらうた)さんにファミリーマートより表彰状を授与しました。

佐野村さんは、熊本県山鹿市で漁業（川魚養殖）の名人を訪ね、手作りで食べ物をつくることで生まれる食べ物を無駄にしない考え方、調理技術の習得などを通じおいしく食べてもらおうと追求する思いなどを聞き書きしまとめました。

名人が生まれ育った地域に愛情を持ち長年培った技術や想いを丁寧に引き出している事が伝わる作品となっており、ファミリーマート賞に選定いたしました。

【聞き書きを終えての感想】

私は以前、川魚のことについて聞いたことはあったのですが、実際にどういうことをしているかわかりませんでした。

そんな中、取材(聞き書き)をすることが決まり不安もありましたが、2日間の取材の中で、養殖以外にも猪をさばいたり、お米を作ったり、たくさんのお話をされており、大変驚きました。

